３団体に環境奨励賞

環境保全に貢献のあった団体を顕彰する「神戸市環境奨励賞」の表彰式が10月16日、神戸市産業振興センターで行われ、堺理事長・芦田、北村両理事と受賞の3団体代表が出席しました。

◆ケナフの会（前田浩三・生14）：ケナフの会結成から営々と環境保護・啓発活動を行ってきたが、今回の奨励賞受賞を大変喜んでいます。ケナフを利用した活動は全国に多数あるが、栽培から炭作り、紙漉きの出前教室までを行う団体は少ないと自負しています。この事業は畑、用具などの資源や、多くの人材が必要であります。この意味において、カレッジの存在に感謝しています。

◆里山グループ（足立　進・園15）：カレッジに接する自然林はコナラなどの多い人工2次林であったものが長年放置され、各種常緑樹が加わり混合林となっていました。生環6期生のグループ学習で整備再生活動に取り組み、自然を親しめる環境にすることを目的に里山グループを結成、夏緑高林を目指し、不用木の伐採を行い、それらを利用し、日の当たる場所では各種の野草や標本木も含め環境学習の場所となっています。

◆銀の匙（辻　郁子・食5）：私たちは食文5期生として在学中から「**食**」についてのボランティアを続けてきました。平成17年の「**食育基本法**」の制定後、心身の健康に必要な「**食の環境作り**」を大切に活動することにしました。特に、神戸市立神出自然教育園や児童館で学びの場を共有できたことを嬉しく思っています。このたび、神戸市環境奨励賞を頂くことになり、感謝しています。これからも、できることを続けて行く所存です。

社協感謝状は5団体

神戸市の社会福祉関係者が一堂に会する神戸市社会福祉大会が9月11日に神戸文化ホールで開催され、次の5団体が感謝状を授与されました。

○ 神戸市長感謝状

◆グループわ　西区会（水野俊夫・国14）：西区社協、福祉事業者からボランティア要請を受けて十数年、会員が高齢者への福祉・奉仕活動を続けた功績が認められ、奉仕活動部門で神戸市長感謝状を受賞しました。今回も受賞の有無に拘わらず、多くの団体や個人が支えあい、協力しながら市民福祉の実現を目指しています。

○社協理事長感謝状

◆グループわ　垂水（福原克巳・福１）：9月25，26日2学期の散歩ボランティアが始まりました。メンバーと感謝状を囲み、今までのことを話し合いました。カレッジ開校20周年、感慨深いものがあり、卒業生の活躍も根付いてきました。散歩ボランティアも13年、ピーク時は24人、今は発足時の11人を切る状態です。願わくば、オリンピックの灯のごとく、散歩ボランティアの灯が点し続けられることを希望しています。

◆シルバーカレッジ垂水会（板野武一・生16）：**シルバーカレッジ垂水会**の地域・ボランティア活動に対して、感謝状が授与されました。これは、グループ世話役の確固たるリーダーシップのもと長年、地道に活動し、施設や地域の人々に感謝された賜物であります。今後もこれらの活動に参加する会員が増えていくことを願います。

◆KSC将棋クラブ（カレッジ関連グループ；村本礼治・生19）：今回の受賞は協力して頂いた神戸市立心身障害福祉センターにて、リハビリとして将棋相手のボランティアを行ってきたことに対する受賞です。（兵庫区のボランタリー登録は平成19年７月）車いすや、家族同伴で来られる方々と将棋や会話を通して、楽しく過ごしていただければ幸いと思っています。今後の活動継続を願っております。

◆兵庫虹の会（カレッジ関連グループ；宮城智子・音2）：7～8年前から兵庫パンジーの会のメンバーや兵庫区ひまわり（独居高齢者訪問グループ）の仲間と、編み物の稽古を始めたグループでボランティア名を付け2008年度のボランティア助成金申請をし2009年5月に助成金を頂き「**兵庫虹の会**」として発足しました。その後、老健施設や区ボランティアセンターから依頼を受け活動し、カレッジ卒業生や地域住民参加のもとに活動を続けています。

西区会がスプリング８見学に

区会行事として、7月31日に48名の参加を得て、播磨科学公園都市内にある「スプリング8」と龍野市にある醤油工場の見学に行きました。「スプリング8」は世界最高クラスの放射光の発生が可能な装置で、癌治療にも威力を発揮しており、東洋一の施設です。「スプリング8」は「放射光」と呼ばれる非常に明るい光を使って、原子レベルの微細な構造や働きを観察することもできる、いわばスーパー顕微鏡でもあるのです。次に、醤油工場を一時間かけて見学をしました。暑さに負けず2か所の見学を終えて、無事帰路につきました。社会見学として、良い経験をしました。次回の企画をお楽しみに？ご参加をお待ちしています。

（堺寿代：音文9・西区会）

スプリング８の説明会